

流山市立江戸川台小学校
校長 上原 和 浩

令和2年度学校評価調査の結果について

このことについて、以下のようにまとめましたので、お知らせいたします。なお、数値は、4段階評価の数値の平均となっています。

1 学校について

| 番号 | 項 目 | 保護者 | | 児童 | | 教職員 | |
|----|------------------------------|------|-------|------|-------|------|-------|
| | | 昨年度 | 今年度 | 昨年度 | 今年度 | 昨年度 | 今年度 |
| 1 | 学校は、明確に目標を立てて指導しているか。 | 3.20 | 3.30 | / | / | 3.64 | △3.58 |
| 2 | 学校行事や活動は、児童にとって充実しているか。 | 3.40 | △3.04 | 3.56 | △3.40 | 3.67 | △3.39 |
| 3 | 学校の施設設備は整えられ、清潔な教育環境になっているか。 | 3.01 | △2.99 | / | 2.94 | 3.16 | △3.06 |
| 4 | 学校はいじめ防止のための取り組みを適切に行っているか。 | / | 3.11 | / | 3.40 | / | 3.70 |

2 職員について

| 番号 | 項 目 | 保護者 | | 児童 | | 教職員 | |
|----|-------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| | | 昨年度 | 今年度 | 昨年度 | 今年度 | 昨年度 | 今年度 |
| 1 | 教職員は、児童の学習・生徒指導に熱心に取り組んでいるか。 | 3.26 | 3.45 | 3.62 | 3.67 | 3.59 | 3.70 |
| 2 | 教職員は、わかりやすい授業作りに努めているか。 | 3.26 | 3.40 | 3.47 | 3.51 | 3.49 | 3.58 |
| 3 | 教職員は、保護者や地域の方々の相談や悩みごとなどに適切に応じているか。 | 3.14 | 3.27 | / | / | 3.53 | 3.64 |
| 4 | 学校は、児童一人ひとりの特性に応じた配慮や支援をしていると思いますか。 | 2.96 | 3.16 | / | / | 3.36 | 3.55 |

3 地域・家庭との連携について

| 番号 | 項 目 | 保護者 | | 児童 | | 教職員 | |
|----|------------------------------------|------|------|-----|-----|------|-------|
| | | 昨年度 | 今年度 | 昨年度 | 今年度 | 昨年度 | 今年度 |
| 1 | 学校は地域・家庭への連絡や情報提供を積極的に行っているか。 | 3.22 | 3.29 | / | / | 3.76 | △3.70 |
| 2 | 学校教育活動に、地域の環境や人材が生かされているか。 | 3.13 | 3.23 | / | / | 3.43 | 3.64 |
| 3 | 学校は、地域家庭と連携し、地域や家庭を大切にしたい運営をしているか。 | 3.16 | 3.22 | / | / | 3.65 | △3.64 |

4 児童について

| 番号 | 項 目 | 保護者 | | 児童 | | 教職員 | |
|----|--------------------------|------|-------|------|-------|------|-------|
| | | 昨年度 | 今年度 | 昨年度 | 今年度 | 昨年度 | 今年度 |
| 1 | 児童は、明るく健康な小学校生活を送っているか。 | 3.35 | △3.25 | 3.52 | △3.40 | 3.49 | △3.33 |
| 2 | 児童は自ら学習に取り組んでいるか。 | 2.98 | 3.07 | 3.43 | 3.44 | 3.19 | △3.15 |
| 3 | 児童は学校や地域でマナーやルールを守っているか。 | 3.08 | 3.20 | 3.30 | 3.36 | 3.03 | △2.97 |

【学校評価への考察】

調査の結果から、概ね良好であったものの今年度の児童の学校生活自体の充実や学校行事、教育環境についていくつか改善の余地があることがわかりました。早速、改善が必要な項目について検証し、今後の学校教育目標達成に向け、教職員一丸となって取り組んでいきます。ご協力ありがとうございました。

- 項目1-1明確な教育目標、項目3-1地域・家庭への情報提供、項目4-2主体的な授業態度、項目4-3児童のマナー・ルールの4つの項目で、教職員の評価が昨年度よりも低くなりました。教職員も教育目標を再確認して今以上に研修に励み、子どもたちの知的好奇心を引き出したり、自律的な生活習慣を形成したりしていくよう努力していきます。また、学校としての情報提供を今以上にスピード感を持って正確にしていきます。
- 項目1-2については、保護者・教師・児童ともに評価が昨年度より低くなりました。コロナ禍でできる限りの学校行事を編成し、行ってきた教育活動について一定の評価をいただいたものの、今回の結果を真摯に受けとめ、制約の多い中でも児童の成長を促し、学校教育目標の具現化を図るために、教職員で共通理解した上で教育活動を見直してまいります。
- 項目1-3については、トイレ改修工事は行われたものの、老朽化した校舎に伴う窓枠サッシの歪みや各所の雨漏り、老朽化に伴う不具合が見られ、その都度要望している状況です。引き続き、施設設備の改善を要望していくとともに、安全面での不安がないように点検を確実に行っていきます。
- 項目4-1の評価も、昨年度と比べて低くなりました。この結果は項目1-2の評価の低さとも関連していると考えられます。今年度のコロナ禍での教育活動は今年だけではなく、今後も継続していかざるを得ないことが予想されます。そんな状況下であっても、児童が明るく健康な小学校生活を送れるように、児童自身、保護者、学校職員が連携して充実した学校教育を実践していくための教育課程の工夫を凝らしていくとともに児童一人一人の心のケアに努めてまいります。